

「令和6年度」

# 公開財務情報

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

# ① 財産目録

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

<b>I. 資産総額</b>	10,705,001千円
内 基本財産	5,745,293千円
運用財産	4,959,708千円
収益事業用財産	0千円
<b>II. 負債総額</b>	546,757千円
<b>III. 正味財産</b>	10,158,244千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	34,459 m <sup>2</sup> 1,000,588千円
建物	24,806 m <sup>2</sup> 4,081,972千円
図書	29,114 冊 31,320千円
教具・校具・備品	8,254 点 402,630千円
その他	228,783千円
2. 運用財産	
現金預金	3,352,054千円
その他	1,607,654千円
3. 収益事業用財産	0千円
<b>I. 資産総額</b>	10,705,001千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	297,724千円
2. 流動負債	
その他	249,033千円
<b>II. 負債総額</b>	546,757千円
<b>III. 正味財産 (資産総額-負債総額)</b>	10,158,244千円

## ② 貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	7,324,509	7,335,109	△ 10,600
有形固定資産	5,745,293	6,071,264	△ 325,971
土地	1,000,588	1,000,588	0
建物	4,081,972	4,278,502	△ 196,530
その他の有形固定資産	662,733	792,174	△ 129,441
特定資産	767,713	751,404	16,309
その他の固定資産	811,504	512,441	299,063
流動資産	3,380,492	3,362,434	18,058
現金預金	3,352,054	3,295,217	56,837
その他の流動資産	28,438	67,217	△ 38,779
資産の部合計	10,705,001	10,697,543	7,458
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	297,724	331,406	△ 33,682
その他の固定負債	297,724	331,406	△ 33,682
流動負債	249,033	353,738	△ 104,705
その他の流動負債	249,033	353,738	△ 104,705
負債の部合計	546,757	685,144	△ 138,387
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,432,031	10,352,760	79,271
第1号基本金	9,815,031	9,785,760	29,271
第2号基本金	450,000	400,000	50,000
第4号基本金	167,000	167,000	0
繰越収支差額	△ 273,786	△ 340,362	66,576
翌年度繰越収支差額	△ 273,786	△ 340,362	66,576
純資産の部合計	10,158,244	10,012,398	145,846
負債及び純資産の部合計	10,705,001	10,697,542	7,459

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

### ③ 資金収支計算書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,502,637	2,502,637	0
手数料収入	27,480	27,533	△ 53
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	315,703	315,703	0
資産売却収入	200,449	200,449	0
付随事業・収益事業収入	700	700	0
受取利息・配当金収入	11,200	11,242	△ 42
雑収入	19,623	19,914	△ 291
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	93,860	93,860	0
その他の収入	623,300	621,309	1,991
資金収入調整勘定	△ 128,837	△ 128,837	0
前年度繰越支払資金	3,295,217	3,295,217	0
収入の部合計	6,961,332	6,959,728	1,604
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,507,350	1,504,530	2,820
教育研究経費支出	610,297	600,524	9,773
管理経費支出	259,886	255,404	4,482
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	23,500	23,032	468
設備関係支出	52,210	50,029	2,181
資産運用支出	555,583	555,583	0
その他の支出	700,232	699,131	1,101
資金支出調整勘定	△ 80,616	△ 80,559	△ 57
翌年度繰越支払資金	3,332,887	3,352,054	△ 19,167
支出の部合計	6,961,332	6,959,728	1,604

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## ④ 活動区分資金収支計算書

令和6年4月1日から  
令和7年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	金 額	
		教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入
手数料収入	27,533			
経常費等補助金収入	315,703			
付随事業収入	700			
雑収入	19,915			
教育活動資金収入計	2,866,488			
支出	人件費支出		1,504,530	
	教育研究経費支出		600,524	
	管理経費支出		255,404	
	教育活動資金支出計		2,360,458	
		差引	506,030	
		調整勘定等	△ 56,466	
		教育活動資金収支差額	449,564	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	施設設備売却収入	449	
		施設整備等活動資金収入計	449	
	支出	施設関係支出	23,032	
		設備関係支出	50,029	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000	
		施設整備等活動資金支出計	123,061	
			差引	△ 122,612
			調整勘定等	8,916
			施設整備等活動資金収支差額	△ 113,696
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	335,868	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	有価証券償還収入	200,000	
		受取利息・配当金収入	11,243	
		預り金受入収入	513,342	
		仮払金回収収入	21,199	
		退職給与引当特定資産取崩収入	33,691	
		その他の活動資金収入計	779,475	
	支出	有価証券購入支出	505,583	
		預り金支払支出	532,002	
		仮払金支払支出	20,920	
その他の活動資金支出計		1,058,505		
		差引	△ 279,030	
		その他の活動資金収支差額	△ 279,030	
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	56,837	
		前年度繰越支払資金	3,295,217	
		翌年度繰越支払資金	3,352,054	

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## ⑤ 事業活動収支計算書

令和6年4月1日から  
令和7年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,502,637	2,502,637	0
		手数料	27,480	27,533	△ 53
		寄付金	0	0	0
		経常費等補助金	315,703	315,703	0
		付随事業収入	700	700	0
		雑収入	19,623	19,914	△ 291
		教育活動収入計	2,866,143	2,866,488	△ 344
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	1,477,600	1,470,847	6,753
		教育研究経費	995,297	983,134	12,163
		管理経費	282,886	276,867	6,019
		教育活動支出計	2,755,783	2,730,848	24,935
		教育活動収支差額	110,360	135,640	△ 25,280
	教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算
受取利息・配当金			10,000	9,757	243
その他の教育活動外収入			0	0	0
教育活動外収入計		10,000	9,757	243	
事業活動支出の部		借入金利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額		10,000	9,757	243	
経常収支差額		120,360	145,398	△ 25,038	
特別収支		事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算
	資産売却差額		449	449	0
	その他の特別収入		0	0	0
	特別収入計	449	449	0	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	0	0
	特別収支差額	449	449	0	
基本金組入前当年度収支差額		120,809	145,847	△ 25,038	
基本金組入額合計		△ 80,000	△ 79,271	△ 729	
当年度収支差額		40,809	66,576	△ 25,767	
前年度繰越収支差額		△ 340,362	△ 340,362	0	
翌年度繰越収支差額		△ 299,553	△ 273,786	△ 25,767	
(参考)					
事業活動収入計		2,876,592	2,876,694	△ 102	
事業活動支出計		2,755,783	2,730,848	24,935	

## ⑥事業報告書

### 1. 建学の精神

#### 1. 建学の精神

「日本医療科学大学」は、「**報恩感謝**」を校是としています。

人は生まれながらにして、親、家族、社会から様々な恩恵を受けて、生かされています。例えば、今日食卓で口にするもの一つをとっても、見知らぬ多くの人々の手を経て私たちに届くのです。

こうした恩に報い、常に感謝する気持ちを持った有為な人材を育てることこそ、「日本医療科学大学」の崇高な理念であり、この建学の精神を具現した多くの医療人・研究者を輩出させたいと考えています。

#### 2. 基本理念 ; 「愛情」「知性」「行動」

「**愛 情**」: 豊かな人間愛に満ちた人格形成

「**知 性**」: 広範な学術の研究練磨

「**行 動**」: 現代社会への貢献

## 2. 法人の概要

### 1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校 設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科） 設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科 開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科 開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校 閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設
令和 3年 4月	日本医療科学大学 臨床検査学科 開設

### 2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（令和7年5月1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	在籍人員	
						女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	410	1,640	1543	780
	診療放射線学科	H19	100	400	454	221
	リハビリテーション学科	H19	110	440	351	126
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<269>	<85>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<30>	<120>	<82>	<41>
	看護学科	H24	80	320	316	234
	臨床工学科	H24	40	160	126	41
	臨床検査学科	R3	80	320	296	158

### 3. 役員（令和7年5月1日現在）

8名；理事6名（うち、理事長1名）、監事2名

### 4. 教職員（令和7年5月1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション学科		看護学科	臨床工学科	臨床検査学科	医療・基礎教育科	専任教員計※	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻								
1 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (2)	12 (2)	8 (2)	20 (18)	9 (2)	12 (6)	9 (2)	82 (34)	54 (25)	190 (51)	410 (144)

※学長、副学長を除く 下段の（ ）は女性

### 5. 入学試験の概要

年度	診療放射線学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		臨床検査学科		合計	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
2025年度	411 (222)	105 (59)	140 (44)	68 (13)	43 (17)	8 (2)	163 (127)	78 (61)	78 (35)	16 (6)	199 (121)	70 (40)	1034 (566)	345 (181)
2024年度	419 (213)	122 (60)	163 (67)	56 (18)	61 (27)	15 (7)	182 (135)	64 (46)	135 (65)	27 (9)	273 (151)	82 (40)	1233 (658)	366 (180)
2023年度	572 (278)	119 (59)	233 (99)	86 (25)	88 (41)	24 (10)	224 (150)	86 (63)	190 (93)	35 (13)	303 (185)	75 (38)	1610 (846)	425 (208)
2022年度	555 (216)	108 (45)	220 (78)	86 (32)	93 (50)	26 (17)	228 (166)	95 (70)	180 (62)	50 (12)	338 (175)	87 (47)	1614 (747)	452 (223)
2021年度	613 (234)	110 (48)	279 (96)	91 (35)	120 (47)	30 (13)	255 (172)	86 (61)	281 (85)	42 (8)	/		1935 (824)	451 (212)
2020年度	605 (214)	103 (50)	386 (114)	91 (36)	172 (58)	44 (9)	284 (202)	92 (77)	271 (90)	44 (16)	/		1,718 (678)	374 (188)

下段の ( ) は女子学生

### 6. 令和6年度 卒業・就職等の状況 (令和7年5月1日現在)

	4年次 在籍者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学 平均合格率 [累計]	就職 希望者 就職率(%)
診療放射線 学科	111 (51)	91 (41)	18 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	88 (40)	96.7 (97.6)	84.7 92.2	79 (37)	2 [70]	89.77
リハビリテー ション学科	121 (50)	95 (38)	21 (10)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	91 (37)	92.9 (96.2)	/	89 (37)	0 [119]	96.54
理学療法学 専攻	82 (31)	73 (25)	4 (4)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	73 (25)	100 (100)	89.6 95.2	72 (25)	0 [61]	98.63
作業療法学 専攻	39 (19)	22 (13)	17 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (12)	85.7 (92.3)	85.8 92.5	17 (12)	0 [58]	94.44
看護学科	80 (58)	74 (54)	4 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	69 (50)	93.2 <86.7> (92.6)	90.1 95.9	68 (50)	6 [28]	98.53
臨床工学科	42 (9)	31 (8)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (7)	93.3 (76.9)	78.9 88.8	28 (7)	3 [12]	100
臨床検査学科	72 (37)	55 (28)	17 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	53 (27)	96.4 (96.4)	84.6 94.0	53 (27)	-	100

下段の ( ) は女子学生。<※>看護学科合格率 (上段; 看護師、中段; <保健師>)

### 3. 令和6年度 事業の概要

#### 1 教学部門の取り組み

令和6年度は医療人としての専門性と人間性を兼ね備えた人材の育成を目指し、質の高い教育を実践するため、授業の目的、内容、評価方法などを明示し、教育目標の明確化やカリキュラムの体系的編成等様々な課題に取り組んだ。学生からの授業評価や、FD、公開授業を行い、授業の質の向上にも取り組んできた。その他、学修の成果を最大限に引き上げるための学修成果の可視化システムが全学科・専攻の1年生から4年生まで導入された。これにより学生が主体的に何を学び、何ができるようになったのかを可視化できるようになった。実習の目標や、達成度を担任と相談しながら振り返りを行い、「学びの成果」を明確に把握・共有でき、教育の質の向上が図れている。また、令和6年度は4年生を対象に、財務知識を取得し、バランスの良い社会人になるため、初めて金融セミナーを実施した。昨今、AIをはじめ情報化が目まぐるしく進歩する中、本学もこの潮流に遅れることなく、令和7年度は情報リテラシーの授業においてAIについての内容を強化し、これからの医療人として必要な情報を学べるよう強化していく。

国家試験については、早い段階から国家試験対策教材を使用した補講や模擬試験の実施、成績不振者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成、通常の補習授業など手厚い指導を継続し行った。

令和6年度の国家試験結果は、昨年に続き理学療法学専攻で100%合格を達成することができた。その他の学科・専攻においても1つの学科専攻が8割後半で、その他では9割以上の高い合格率を残すことができた。この勢いを維持拡大し高い合格率を目指し取り組んでいきたい。

#### 2 学生部門における取り組み

大学生活を円滑にスタートできるよう、必要な情報や心構えを伝えるため、4月には新入生全員で長野県白樺高原ホテルにて一泊二日のフレッシュマンセミナーを実施した。新入生同士親交を深めるなど、これからの大学生活に弾みをつけることができた。6月の大樹祭は2日間にわたり開催され、約874名の参加があり、過去最高の来場者数となりにぎわった。学科・専攻やサークル等の模擬店参加や、音楽サークルによるコンサート、歌うまバトルやダンスバトルなどのステージ企画が行われたほか、青島健太客員教授トークショー、タレントによるトークライブなど学生、教職員、外部の方々と一緒に楽しむことができた。

そのほか、新歓イベントや、NIMSスポーツ大会、ハロウィンパーティー、クリスマス

パーティーなどの例年恒例のイベントも積極的に開催し、学生生活の充実に寄与することができた。また、4年生に対しては国家試験の激励会も行い、国家試験に向けて気持ちを一つにし、撮影した写真をカレンダーにして配り、国家試験合格に弾みをつけた。

### 3 学生募集

文部科学省の発表によると、令和6年度の国公私立大学全体の入学志願者数は約424万人で、前年度から約3.7万人減少。志願倍率も6.8倍と、前年度の6.9倍からわずかに低下している。日本私立学校振興・共済事業団のレポートによると、令和6年度に定員割れを起こした私立大学は354校にのぼり、全体の約6割に達している。特に地方の小規模大学で定員割れが顕著であり、少子化の影響が深刻化している。

このような大学を取り巻く状況の中、本学においては、令和7年度は全学科で1,034名の志願者を獲得し345名の新入生を迎えた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科105名（定員100名）、リハビリテーション学科理学療法学専攻68名（定員80名）、作業療法学専攻8名（定員30名）、看護学科は78名（定員80名）、臨床工学科は16名（定員40名）、臨床検査学科は70名（定員80名）と残念ながら学部定員を充足させるには至らない結果となった。

令和6年度は募集強化のため、リハビリテーション学と臨床工学の領域における「体験フェア」を2日間にわたり実施した。理学療法学専攻と作業療法学専攻を分けるのではなく、リハビリテーション学科として、理学療法希望者にも作業療法を知ってもらえるよう紹介を行い、その他の場面においてもリハビリテーション学科として両専攻のPRを行なった。オープンキャンパスでは1,095人が参加し、多くの来場者に本学を知ってもらうことができた。前半入試ウェイトが大きくなる昨今、様々な入試区分が各大学用意される中、本学においても指定校を約200校追加し、入試区分を増加し、受験生のニーズを取りこぼさないよう対応を行った。学生募集においてはどこの私立大学も苦慮しているなか、効果の高い広報活動を引き続き実践していく。

### 4 就職支援の充実

令和5年度の卒業生における就職については、就職支援センターが中心となり、きめ細やかなサポートを行うことで就職率は100%となった。令和6年度の卒業生においても概ね就職が内定し、サポートを引き続き行い早い段階での就職率100%を目指したい。

具体的な施策は以下の通り。

- (1) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職ガイダンスを実施した。

- (2) 令和6年度の求人説明会は、本学にて学科ごとに実施した。各学科実習等の兼ね合いで、就職活動を行う時期がバラバラであることから、それぞれの学科の就職活動時期に合わせて行うこととした。合計で210の病院施設が来学し、本学の学生は合計601名が参加。病院施設の方と直接話をする事ができる貴重な場となり、就職活動に弾みをつけることができた。
- (3) 就職課の職員が、求人票の閲覧、就職相談および履歴書の書き方の相談等を日常的に行い、内定獲得まで手厚いサポートを実施した。さらにハローワーク職員を招き、円滑な情報開示を行った。

(4) 令和6年度の求人数は以下の通り。

診療放射線学科	求人施設数	513 施設	求人数	897 人
理学療法学専攻	"	1211 施設	"	4100 人
作業療法学専攻	"	1218 施設	"	3066 人
看護学科	"	647 施設	"	13176 人
臨床工学科	"	404 施設	"	681 人
臨床検査学科	"	412 施設	"	732 人

(5) 主な就職先は以下のとおりである。

①診療放射線学（72 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	伊奈病院	埼玉県	大宮共立病院
	イムス三芳総合病院		埼玉精神神経センター
	圏央所沢病院		桃泉園北本病院
	埼玉医科大学国際医療センター		入間ハート病院
	埼玉県済生会加須病院	東京都	IMS Me-Life クリニック 渋谷
	埼玉石心会病院		昭和大学病院
	さいたま赤十字病院		東京女子医科大学病院
	秀和総合病院		東京都済生会中央病院
	戸田中央総合病院		東京都立墨東病院
	吉川中央総合病院		武蔵野徳洲会病院
	かわぐち心臓呼吸器病院		イムス東京葛飾総合病院
	東川口病院		明理会東京大和病院
	康正会病院		IMS Me-Life クリニック 池袋
	メディカルトピア草加病院		日本大学医学部附属板橋病院
蓮田病院	高島平中央総合病院		

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	日本大学医学部附属板橋病院	神奈川県	戸塚共立第1病院
	東京新宿メディカルセンター		横浜栄共済病院
	メディカルスキャニング		横浜新都市脳神経外科病院
	練馬光が丘病院		神奈川県歯科大学附属クリニック
	東京北部病院		金沢病院
	鶯谷健診センター		総合相模更生病院
	江戸川区医師会医療検査センター		帝京大学医学部附属溝口病院
	世田谷記念病院		済生会宇都宮病院
	東京都立多摩総合医療センター	自治医科大学附属病院	
	立川相互病院	上都賀総合病院	
	英世会第2画像診断クリニック	はせがわ整形外科クリニック	
	公立福生病院	群馬県	イムス太田中央総合病院
福島県	須賀川病院		石井病院
	相馬中央病院		関口病院
宮城県	イムス明理会仙台総合病院	東前橋整形外科病院	
千葉県	安房地域医療センター	公立藤岡総合病院	
	船橋中央病院	山梨県	山梨厚生病院
	塩田病院	静岡県	順天堂大学医学部附属静岡病院
	千葉病院		熱海所記念病院
	栗山中央病院		社会福祉法人 聖隷福祉事業団
神奈川県	昭和大学藤が丘病院	愛知県	藤田医科大学病院

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻 (56 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	上尾中央総合病院	埼玉県	行田総合病院
	イムス富士見総合病院		熊谷総合病院
	大宮中央総合病院		圏央所沢病院
	小川赤十字病院		埼玉精神神経センター
	介護老人保健施設春日部ロイヤルケアセンター		埼玉石心会病院
	霞ヶ関南病院		狭山尚寿会病院
	株式会社 C Cube Create デイサービス CORE		三愛病院
	川越リハビリテーション病院		TMG あさか医療センター
	関越病院		TMG 宗岡中央病院

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	所沢第一病院	東京都	練馬駅リハビリテーション病院
	所沢美原総合病院		ねりま健育会病院
	所沢白翔会病院		浜倉的商店製作所
	新座志木中央総合病院		一橋病院
	富家病院		南山リハビリテーション病院
	鳳永病院		東大和病院
	本庄駅前病院		徳丸リハビリテーション病院
	武蔵台病院	山形県	庄内余目病院
	若葉病院	茨城県	立川記念病院
	和光リハビリテーション病院		所沢第一病院
	皆野病院	栃木県	うつのみや病院
	豊岡整形外科病院	千葉県	キッコーマン総合病院
	東京都	阿部整形外科クリニック	群馬県
永生病院		剣持整形外科クリニック	
小金井リハビリテーション病院		神奈川県	海老名総合病院
慈誠会徳丸リハビリテーション病院			秦野赤十字病院
多摩北整形外科病院			北小田原病院
西東京中央総合病院		新潟県	三之町病院
日本大学医学部附属板橋病院		静岡県	湖山リハビリテーション病院

### ③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（16施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	介護老人保健施設やまざくら	埼玉県	武蔵嵐山病院
	熊谷総合病院		若葉病院
	埼玉医科大学国際医療センター		新座病院
	西武川越病院	東京都	日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾
	タムスさくら病院川口		練馬駅リハビリテーション病院
	北辰病院	栃木県	新宇都宮リハビリテーション病院
	リハビリテーション天草病院	群馬県	つつじメンタルホスピタル
	丸木記念福祉メディカルセンター	福島県	医療法人むつき会

④看護学科 (43 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先	
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	東京医科歯科大学病院	
	イムス富士見総合病院		東京医科大学病院	
	イムス三芳総合病院		東京慈恵会医科大学附属病院	
	医療生協さいたま生活協同組合		東京女子医科大学病院	
	川口市立医療センター		東京女子医科大学附属足立医療センター	
	保育園		東京都健康長寿医療センター	
	埼玉医科大学総合医療センター		東京都済生会中央病院	
	埼玉医科大学病院		東京都立墨東病院	
	さいたま市立病院		日本大学医学部附属板橋病院	
	埼玉石心会病院		日本大学病院	
	さいたま赤十字病院		瑞穂町(保健師)	
	埼玉病院(NHO)		三井記念病院	
	新久喜総合病院		武蔵野赤十字病院	
	TMG あさか医療センター		福島県	福島県(保健師)(配属先未定)
	TMG 宗岡中央病院		千葉県	亀田メディカルセンター
	所沢美原総合病院			千葉西総合病院
武蔵台病院	山梨県	甲斐市役所(保健師)		
嵐山町役場(保健師)	栃木県	上都賀総合病院(奨学金)		
がん研究会有明病院		佐野厚生総合病院		
東京都	杏林大学医学部付属病院	静岡県	総合病院聖隷浜松病院	
	国立精神・神経医療研究センター	長野県	佐久総合病院 佐久医療センター	
	市立青梅総合医療センター			

⑤臨床工学科 (26 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	イムス三芳総合病院	埼玉県	戸田中央総合病院
	春日部嬉泉病院		株式会社アスト
	春日部中央総合病院		岩槻南病院
	川口市立医療センター	東京都	池上総合病院
	関越病院		イムス葛飾ハートセンター
	埼玉県央病院		公立昭和病院
	三愛会総合病院		市立青梅総合医療センター
	秀和総合病院		昭和大学江東豊洲病院
TMG あさか医療センター		総合東京病院	

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	東京医科歯科大学病院	神奈川県	横浜新都市脳神経外科病院
	東京都立駒込病院	群馬県	群馬大学医学部附属病院
	善仁会	千葉県	新東京病院
神奈川県	東海大学医学部付属病院		三愛会記念病院

### ⑥臨床検査学科（47施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	春日部中央総合病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属第三病院
	イムス富士見総合病院		東京都立多摩総合医療センター
	イムス三芳総合病院		東京都立墨東病院
	株式会社アムル		(株)ビー・エム・エル(英名:BML, INC.)
	康正会病院		武蔵野赤十字病院
	埼玉県済生会加須病院		みなみ野循環器病院
	埼玉県立小児医療センター		江戸川区医師会医療検査センター
	埼玉石心会病院		宮城県
	至聖病院	神奈川県	総合健診センター ヘルチェック
	TMG あさか医療センター		東海大学医学部付属病院
	新座志木中央総合病院		横浜相原病院
	東川口病院		昭和大学藤が丘病院
	新久喜総合病院		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	深谷寄居医師会メディカルセンター		群馬県
坂戸中央病院	千葉県	亀田総合病院	
東京都	株式会社アイル		亀田総合病院附属幕張クリニック
	板橋中央総合病院	茨城県	小山記念病院
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	栃木県	上都賀総合病院
	総合東京病院		菅間記念病院
	新渡戸記念中野総合病院	新潟県	新潟県労働衛生医学協会
	総合病院厚生中央病院	静岡県	熱海所記念病院
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	山梨県	山梨大学医学部附属病院
	東京女子医科大学病院	沖縄県	中頭病院
	東京女子医科大学附属足立医療センター		

## 5 施設・設備の拡充及び補習

3号棟東側職員駐車場を移し、新たに学生の憩いの場として芝生広場を設けた。広場には日よけとイスを用意し、日頃の勉強の疲れや、学生同士の交流を深める場として利用が期待される。完成記念オープン時にはキッチンカーを呼んで盛大な賑わいを見せた。完成後は地域住民にも利用され、広く愛される場となっている。

3号棟、4号棟のトイレについては一部和式が残っていたものを洋式へと変更を行い、学生の生活環境の改善を行った。また、学生に対し大学のドメインメールアドレスを付与し、運用を開始した。これまで本学の学生は実習や就職活動時に個人のメールアドレスを使用していたが、個人情報保護の観点および病院施設等と連絡する際に大学のメールアドレスを使用することで、信頼性およびセキュリティが高くなることから学生にとっても大きな利点が生まれている。

／もっと／

### NIMSが明るくなる！プロジェクト

学生がもっと日本医療科学大学（NIMS）を好きになり、もっと大学に居たいと思ってもらえるような空間づくりをすすめている「もっとNIMSが好きになる！プロジェクト」の番外編【もっとNIMSが明るくなる！プロジェクト】は、今年もイルミネーション設置を行った。今年「ハロウィンイルミネーション」「Xmasイルミネーション」の2回に分けて実施し、冬のキャンパスを明るく彩った。



#### ① ハロウィンイルミネーション



学生も参加して飾りつけ



② Xmas イルミネーション



6 教育研究備品の購入

診療放射線学科

GM 測定装置



GM サーバイメータ



臨床工学科

体外式ペースメーカー



手洗い装置ユニット



## 作業療法学専攻

### SR ソフトビジョン 数値版ワイヤレス



- |                        |   |          |
|------------------------|---|----------|
| 1) GM 測定装置一式（診療放射線学科）  | … | 2,271 千円 |
| 2) GM サーベイメータ（診療放射線学科） | … | 368 千円   |
| 3) SR ソフトビジョン（作業療法学専攻） | … | 448 千円   |
| 4) 手洗い装置ユニット一式（臨床工学科）  | … | 4,620 千円 |
| 5) 体外式ペースメーカー（臨床工学科）   | … | 1,320 千円 |

## 7 教育改革に係る予算及び実績

### (1) 学長特別研究費 実績

令和6年度の学長特別研究費で実施した研究は下記項目。

2024（令和6）年度 学長特別研究費実績

	研究者 ※（ ）内は研究期間	研究テーマ	申請額
1	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 工藤 昌弘 教授 (2024-2025)	坂戸・鶴ヶ島消防組合における高齢期職員の体力維持・向上プログラム開発	¥1,930,000
2	看護学科 小澤 美和 教授 (2023-2024)	全国の高齢者施設における看護師と介護士の看取りケア教育プログラムの構築	¥666,673
3	臨床工学科 中尾 教伸 教授 (2022-2024)	透析患者における血圧関連合併症の発症要因に関する疫学的研究	¥660,000
4	臨床検査学科 関 貴行 教授 (2023-2024)	疾患モデルラットを用いた炎症性腸疾患の発症および腸管収縮機能障害メカニズムの解明	¥1,010,910
5	臨床工学科 大矢 哲也 准教授 (2023-2024)	視線入力による微動補正処理を用いた入力方式の提案	¥616,098
6	臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授 (2024-2026)	機械学習を用いた血液浄化療法中における安全支援システムの開発	¥2,170,560
7	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 稲垣 郁哉 助教 (2023-2024)	理学療法士養成校の学生におけるキャリア意識の実態調査	¥641,133
8	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2023-2024)	医療系大学生の学業成績に与える動機づけ、職業的アイデンティティ、メタ認知の影響	¥500,439
9	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教 (2024)	in silicoとin vitroの融合による軸索再生促進に関わる運動誘発性因子の探索	¥1,985,202
10	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教 (2024)	物理療法を活用した力学と光学エネルギー複合刺激法による高齢者記憶に及ぼす効果	¥1,500,000
11	臨床検査学科 島村 明花 助教 (2024)	全血を用いた新しい凝固検査法の検討	¥920,000
12	医療・基礎教育科 白戸 亮吉 助教 (2022-2024)	予防医療のための正確な情報の取得・評価および健康・予防行動を促す効果的な情報提供方法の検討	¥933,956
13	日本医療科学大学 徳永 千尋 名誉教授 (2023-2024)	新時代の医療科学—人々の健康と未来を守るために—医療科学を学ぶ学生の課題解決に導くデータ収集と分析—	¥1,820,000

令和7年度の学長特別研究費新規採択研究は下記項目。

2025（令和7）年度 学長特別研究費新規採択者

研究者 ※（ ）内は研究期間	研究テーマ	予算額
1 日本医療科学大学 副学長 中谷 儀一郎 教授 (2025)	様々なシチュエーションに対応できるX線影響評価系の確立と応用	¥2,500,000
2 看護学科 亀田 芙蓉 講師 (2025-2026)	小児の年齢に応じた救命処置教育プログラムの開発	¥1,534,500
3 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 稲垣 郁哉 助教 (2025-2026)	理学療法士版グリット尺度の開発および信頼性と妥当性の検証	¥1,120,000
4 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教 (2025-2026)	パーキンソン病患者の歩行支援における多感覚フィードバックシステムの構築と評価	¥1,800,000

## (2) 科学研究費助成事業（科研費）実績

令和6年度の科研費で実施した研究は下記項目。

2024（令和6）年度科学研究費助成事業実績

※（ ）内は研究期間

研究者	代表/分担	研究種目	令和6年度交付決定額
1 診療放射線学科 藤井 義大 助教 (2018-24)	代表者	若手研究	¥0
2 看護学科 小坂 恵美 教授 (2019-24)	代表者	若手研究	¥0
3 医療・基礎教育科 小川 由香里 准教授 (2020-24)	代表者	若手研究	¥0
4 臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教 (2021-24)	代表者	基盤研究 C	¥0
5 臨床検査学科 山口 航 准教授 (2021-24)	代表者	基盤研究 C	¥300,000
6 看護学科 末永 弥生 教授 (2021-24)	代表者	基盤研究 C	¥0
7 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2022-25)	代表者	若手研究	¥400,000
8 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教 (2022-25)	代表者	若手研究	¥200,000
9 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教 (2023-24)	代表者	研究活動スタート支援	¥1,100,000
10 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教 (2024-26)	代表者	若手研究	¥1,400,000
11 臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教 (2024-26)	代表者	基盤研究 C	¥2,000,000
12 臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授 (2021-25)	分担者	基盤研究 B	¥200,000

13	看護学科 平田 礼子 教授 (2022-25)	分担者	基盤研究 C	¥0
14	看護学科 小林 美奈子 教授 (2023-2026)	分担者	基盤研究 C	¥50,000
15	看護学科 豊吉 泰典 教授 (2024-2026)	分担者	基盤研究 C	¥100,000

#### 2025（令和7）年度科研費新規採択

	研究者	代表者	研究種目	令和7年度交付申請額
1	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2025-27)	代表者	若手研究	¥1,300,000
2	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教 (2025-27)	代表者	若手研究	¥2,200,000
3	医療・基礎教育科 池田 正明 (2025-2027)	代表者	基盤研究 C	¥1,300,000

## 8 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第17号が発行された。また、科学研究費助成金の応募は8件（教授2名、准教授2名、講師0名、助教3名、職員1名）であった。

## 9 国際交流研究センターの活動

2012年度から始動したNIMSサマープログラムは2024年度に第10回を迎え、米国シアトルで実施された。また、協定校である中台科技大学（台湾）との交流も、新型コロナウイルス・パンデミック以降、初めて再開することができ、国際交流活動のさらなる発展が見られた。以下、2024年度の主な取り組みは以下の通り。

### ① NIMS サマープログラム

実施日：2024年8月19日～8月26日

米国シアトルで実施し、学生24名・教職員3名が参加。ワシントン大学での看護実習やバステリア大学での解剖実習、現地施設でのボランティア活動、日本人医師による講義など多彩な研修を行い、現地学生との交流も実現した。



## ② 新藤国際交流研究センター長による講演会

実施日：2024年7月2日

新藤洋子センター長が実践英語の授業でゲスト講演。海外体験や国際交流の意義、英会話のポイント、日米医療制度の違いを紹介した。



## ③ 城西大学留学生との交流授業

実施日：2024年11月6日

看護学科4年生とハンガリー、スロベニア、マレーシア、タイの留学生8名が、日本語・英語・ジェスチャー・翻訳アプリを活用しながら、各国の医療事情や日本との違いについて活発に意見交換した。



#### ④ 中台科技大学研修（台湾）

実施日：2025年3月17日～3月21日

学生14名・教員2名が参加。協定再締結のほか、同大学での授業・実習や台中榮民総医院視察、現地学生との交流、台北近郊観光など充実した内容となり、台湾 Yahoo!ニュースでも紹介された。



#### ⑤ Empowering English Camp (EEC)

実施日：2024年7月6日、12月7・8日、2025年3月22・23日

NPO 法人 J.J.N Social Contribution と連携し、小学生向け英語イベントを年3回実施。各回10名程度が参加し、リピーターも増加。フィリピン協定校学生とのオンラインゲームも取り入れ、ネイティブ講師や学生スタッフと共に、ゲームやスポーツを通して楽しく英語を学んだ。

以上の活動を通じて、本学の国際交流は着実に広がりを見せている。



## 10 学位記授与式の実施

令和7年3月10日、川越プリンスホテルにて、学位記授与式を執り行った。臨床検査学科では、令和3年開設後、初の卒業生を送り出すこととなった。診療放射線学科91名、リハビリテーション学科 理学療法学専攻73名、リハビリテーション学科 作業療法学専攻22名、看護学科74名、臨床工学科31名、臨床検査学科55名、合計346名の卒業生がそれぞれの想いを胸に、新たな一歩を踏み出していった。



今年度も、式典の様子を大学 youtube チャンネルからライブ配信した。

(個人情報保護のため本学卒業生関係者のみの限定公開)



## 卒業パーティー

厳かな式典の雰囲気から一転、卒業パーティーでは、教員・卒業生が別れを惜しみつつ、晴れやかな笑顔でテーブルを囲んだ。



## 11 中期計画 “NIMS 2022 ”について（進捗状況）

2021年に策定した長期ビジョンは、医療業界に深く貢献できる自立人材育成の教育体制の整備と教育拠点の整備、トップクラスの教育維持のための財政基盤の確保と収支均衡の継続、ステークホルダーとのコミュニケーションの充実推進を目的とした地域、そして組織内部のコミュニケーションの推進と人材育成を掲げ制定した。これらを具現化すべく本学の中期取り組みテーマ（教育改革、学生募集と学生支援、教学マネジメント、社会連携・社会貢献、国際交流）を策定と役割分担を明確化し、それぞれのテーマについて着実に進めてきた。令和6年は5年計画の折り返し地点で中間総括を行うとともに、令和7年度は最終年度に向けた重要な年度となるため、それぞれのテーマにおける課題をひとつひとつ確実にクリアし、計画の実行に向け進めていきたい。



## 4. 財務の概要

### 財務データの経年比較

#### 1) 貸借対照表関係

##### (1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
資産の部						
固定資産		8,006,877	8,331,920	8,131,557	7,335,109	7,324,509
流動資産		2,410,127	1,959,172	2,389,123	3,362,433	3,380,492
資産の部合計		10,417,004	10,291,092	10,520,680	10,697,542	10,705,001
負債及び純資産の部						
固定負債		298,140	340,786	359,889	331,407	297,724
流動負債		662,221	289,114	371,395	353,738	249,033
負債の部合計		960,361	629,900	731,284	685,145	546,757
基本金		9,365,065	10,104,857	10,198,321	10,352,759	10,432,031
繰越収支差額		91,578	△ 443,665	△ 408,925	△ 340,362	△ 273,486
純資産の部合計		9,456,643	9,661,192	9,789,396	10,012,397	10,158,244
負債及び純資産の部合計		10,417,004	10,291,092	10,520,680	10,697,542	10,705,001

##### (2) 財務比率の経年比較

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運用資産余裕比率 (運用資産-外部負債/経常支出)	149.61%	153.39%	147.93%	161.83%	177.53%
流動比率 (流動資産/流動負債)	363.95%	677.65%	643.28%	950.54%	1357.45%
総負債比率 (総負債/総資産)	9.22%	6.12%	6.95%	6.40%	5.11%
前受金保有率 (現金預金/前受金)	1631.39%	1353.87%	1,724.68%	2,875.41%	3,571.33%
基本金比率 (基本金/基本金要組入額)	96.86%	100.00%	99.90%	99.97%	100.00%
積立率 (運用資産/要積立額)	116.04%	98.65%	103.86%	102.48%	102.11%

資産の部の合計は、前年度末より7百万円増の10,705百万円となった。

内訳は、有形固定資産が326百万円減の5,745百万円、特定資産が16百万円増の768百万円、その他固定資産が299百万円増の812百万円、流動資産が18百万円増の3,380百万円である。その他固定資産の増加は、有価証券の新規購入が主な要因である。

負債の部の合計は、138百万円減の547百万円となった。

内訳は、固定負債が34百万円減の298百万円、流動負債が105百万円減の249百万円である。

また、基本金は10,432百万円、繰越収支差額は△273百万円となり、純資産の部の合計は、前年から146百万円増加の10,158百万円となった。

## 2) 資金収支計算書関係

### (1) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入の部						
学生生徒等納付金収入	2,216,176	2,352,342	2,534,615	2,557,267	2,502,637	
手数料収入	37,422	35,639	35,987	28,896	27,533	
寄付金収入	12,000	0	0	200	0	
補助金収入	158,328	211,954	287,745	295,609	315,703	
資産売却収入	0	0	0	1,000,923	200,449	
付随事業・収益事業収入	200	1,500	1,100	400	700	
受取利息・配当金収入	10,981	9,715	16,426	9,644	11,242	
雑収入	24,202	23,028	42,174	52,297	19,914	
前受金収入	145,500	142,500	135,600	114,600	93,860	
その他の収入	2,082,044	561,598	582,526	714,213	621,309	
資金収入調整勘定	△ 425,670	△ 162,726	△ 183,294	△ 183,960	△ 128,837	
前年度繰越支払資金	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,217	
収入の部合計	6,529,435	5,549,220	5,382,150	6,928,752	6,959,728	

(単位：千円)

科目	年度					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
支出の部						
人件費支出	1,281,238	1,340,594	1,476,481	1,504,604	1,504,530	
教育研究経費支出	480,532	517,369	593,837	619,650	600,524	
管理経費支出	167,526	165,838	342,677	257,170	255,404	
施設関係支出	1,607,384	47,584	19,379	33,723	23,032	
設備関係支出	454,507	97,994	68,900	197,603	50,029	
資産運用支出	0	542,646	69,103	370,000	555,583	
その他の支出	589,924	957,703	598,111	796,956	699,131	
資金支出調整勘定	△ 425,346	△ 49,779	△ 125,001	△ 146,172	△ 80,559	
翌年度繰越支払資金	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,218	3,352,054	
支出の部合計	6,529,435	5,549,220	5,382,150	6,928,752	6,959,728	

令和6年度は、入学者数の減少等により学納金の収入は減少したが、補助金収入の増加、経費管理の徹底により、繰越資金は昨年対比57百万円の増加となった。  
資金収支における収入の部では、学生生徒等納付金収入が主となるが、入金総額は、3,665百万円となり、前年度繰越資金3,295百万円を含めた収入合計は6,960百万円となった。

支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費ともに、昨年実績に近い形となり、施設関係、設備関係の支出が減少した分、資産運用支出が増加したが、最終的に翌年度への繰越支払い資金は57百万円増加の3,352百万円とすることができた。

## (2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
教育活動による資金収支						
教育活動資金収入計	2,437,329	2,624,463	2,901,621	2,934,669	2,866,488	
教育活動資金支出計	1,929,296	2,023,801	2,412,995	2,381,425	2,360,458	
差引	508,033	600,662	488,626	553,244	506,030	
調整勘定等	△ 196,715	△ 68,877	38,338	3,569	△ 56,466	
教育活動資金収支差額	311,318	531,785	526,964	556,813	449,564	
施設整備等活動による資金収支						
施設整備等活動資金収入計	1,561,000	0	0	923	449	
施設整備等活動資金支出計	2,061,891	445,578	138,279	281,326	123,061	
差引	△ 500,891	△ 445,578	△ 138,279	△ 280,403	△ 122,612	
調整勘定等	281,949	△ 303,891	3,892	△ 6,547	8,915	
施設整備等活動資金収支差額	△ 218,942	△ 749,469	△ 134,387	△ 286,950	△ 113,696	
小計（教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額）	92,376	△ 217,684	392,577	269,863	335,868	
その他の活動による資金収支						
その他の活動資金収入計	531,120	543,801	585,776	1,684,756	779,475	
その他の活動資金支出計	518,078	770,516	568,961	998,065	1,058,505	
差引	13,042	△ 226,715	16,815	686,691	△ 279,030	
調整勘定等	0	0	0	0	0	
その他の活動資金収支差額	13,042	△ 226,715	16,815	686,691	△ 279,030	
支払資金の増減額 （小計+その他の活動資金収支差額）	105,418	△ 444,399	409,392	956,554	56,837	
前年度繰越支払資金	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,217	
翌年度繰越支払資金	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,217	3,352,054	

## (3) 財務比率の経年比較

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額比率 （教育活動資金収支差額/教育活動資金収入）	12.77%	20.26%	18.16%	18.97%	15.68%

### 3) 事業活動収支計算書関係

#### (1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目		年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,216,176	2,352,342	2,534,615	2,557,267	2,502,637
		手数料	37,423	35,639	35,987	28,896	27,533
		寄付金	1,000	0	0	200	0
		経常費等補助金	158,328	211,954	287,745	295,609	315,703
		付随事業収入	200	1,500	1,100	400	700
		雑収入	24,202	23,028	42,174	52,297	19,914
		教育活動収入計	2,437,329	2,624,463	2,901,621	2,934,669	2,866,488
	事業活動支出の部	人件費	1,270,500	1,383,240	1,495,585	1,476,121	1,470,847
		教育研究経費	723,074	865,199	939,904	970,068	983,134
		管理経費	178,708	181,189	359,256	276,045	276,867
教育活動支出計		2,172,282	2,429,628	2,794,745	2,722,234	2,730,848	
教育活動収支差額		265,047	194,835	106,876	212,435	135,640	
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	10,981	9,715	16,426	9,644	9,757
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	10,981	9,715	16,426	9,644	9,757
	支出の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額		10,981	9,715	16,426	9,644	9,757	
特別収支	経常収支差額		276,028	204,550	123,302	222,079	145,398
	収入の活動	資産売却差額	0	0	0	923	449
		その他の特別収入	11,000	0	4,902	0	0
		特別収入計	11,000	0	4,902	923	449
	支出の活動	資産処分差額等	300,000	0	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	300,000	0	0	0	0
	特別収支差額		△ 289,000	0	4,902	923	449
	基本金組入前当年度収支差額		△ 12,972	204,550	128,204	223,002	145,847
	基本金組入額合計		△ 229,321	△ 739,792	△ 93,464	△ 154,439	△ 79,271
当年度収支差額		△ 242,293	△ 535,242	34,740	68,563	66,576	
前年度繰越収支差額		333,871	91,578	△ 443,664	△ 408,924	△ 340,361	
翌年度繰越収支差額		91,578	△ 443,664	△ 408,924	△ 340,361	△ 273,785	
(参考)							
事業活動収入計		2,459,310	2,634,178	2,922,949	2,945,236	2,876,694	
事業活動支出計		2,472,282	2,429,628	2,794,745	2,722,234	2,730,848	

## (2) 財務比率の経年比較

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費比率 (人件費/経常収入)	51.89%	52.51%	51.25%	50.13%	51.14%
教育研究経費比率 (教育研究経費/経常収入)	29.53%	32.85%	32.21%	32.95%	34.18%
管理経費比率 (管理経費/経常収入)	7.30%	6.88%	12.31%	9.38%	9.63%
事業活動収支差額比率 (基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	-0.53%	7.77%	4.4%	7.57%	5.07%
学生生徒等納付金比率 (学生生徒等納付金/経常収入)	90.52%	89.30%	86.86%	86.85%	87.01%
経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	11.27%	7.77%	4.23%	7.54%	5.06%

## 2. その他

### 1) 有価証券の状況

(単位：千円)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	804,098	785,740	△ 18,358
合計	804,098	785,740	△ 18,358
時価のない有価証券	1,000	—	—
有価証券合計	805,098	—	—

### 2) 借入金の状況

該当なし

### 3) 学校債の状況

該当なし

### 4) 寄付金の状況

該当なし

### 5) 補助金の状況

(単位：千円)

種別等	事業名等	金額
国庫補助金	私立大学等経常費補助金等	178,156
国庫補助金	高等教育修学支援事業補助金 (※1)	90,137
いわき市	いわき市寄附講座補助金	47,410
合計		315,703

※1補助金と同額を奨学金として対象学生の授業料等との相殺処理を実施している。

## 6) 収益事業の状況

該当なし

## 7) 関連当事者との取引の状況

### (1) 関連当事者

(単位：円)

役員・法人等の名称	資本金 (千円)	事業内容	取引内容	取引金額	期末残高
株式会社泰同 (注1)	23,000	不動産賃貸業、ESCO事業	ESCOサービス料	5,723,520	-

の支払い

(注1) 理事佐藤知之及びその近親者が議決権の100%を直接保有している。

(注2) ESCOサービス料については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定している。

### (2) 出資会社

(単位：円)

会社の名称	資本金 (千円)	出資割合	事業内容	取引金額
(株)日本医療科学	1,000	100%	損害保険業務他	保険料支払 7,447,318 仲介手数料支払 3,630,593 雑収入 780,228

## 3. 経営状況の分析等

日本私立学校振興・共済事業団が分析する経営判断指標は、学校法人の財務状況を経営状態が良好であると考えられる順から、①正常状態、②経営困難状態、③自力再生が極めて困難な状態の3つに分類している。

本法人は、①正常状態に属し、教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上黒字であり、かつ、外部負債があっても10年以上資金繰りに問題が生ずる可能性がなく、更に経常収入から経常支出を控除した経常収支差額も黒字である。

黒字幅（経常収支差額比率）の水準のみ5.1%（今年度実績）と10%の水準を下回っているが、積立率は前年に引き続き100%以上を維持している。

しかしながら、正常状態でも、上から3つ目のA3のレベルなので、将来はA2・A1を目指したい。

BO	A3	A2	A1
イエローゾーンの予備的段階	正常状態		

右側ほど、経営状態がよい

# 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）

※平成27年度から

① 教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上赤字である

② 外部負債と運用資産を比較して外部負債が超過している

③ 耐久年数により3つに区分  
ア 修業年限未滿  
イ 修業年限～10年  
ウ 10年以上

④ 外部負債を約定年数又は10年以内に返済できない

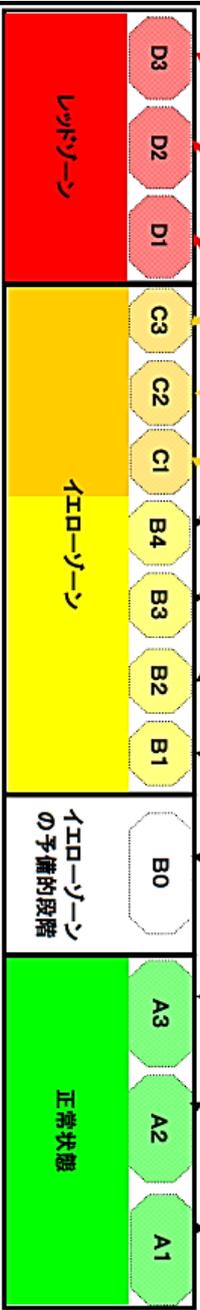
⑤ 修正前受金保有率100%未滿

⑥ 3か年のうち2か年以上赤字である

⑦ 黒字幅が10%未滿か

⑧ 積立率が100%未滿か

⑨ 外部負債超過



**●教育活動資金収支差額**  
**【教育活動資金収入】**  
 学納金収入＋手数料収入＋特別寄付金収入(施設整備除く)＋一般寄付金収入＋修業費等補助金収入(施設設備除く)＋付随事業収入＋雑収入  
 ー  
**【教育活動資金支出】**  
 人件費支出＋教育研究経費支出＋管理経費支出  
 十  
 調整勘定等

※教育活動資金収支差額および経常収支差額の「3か年」とは、一昨年度、昨年度の決算実績および今年度決算見込み3か年を指す

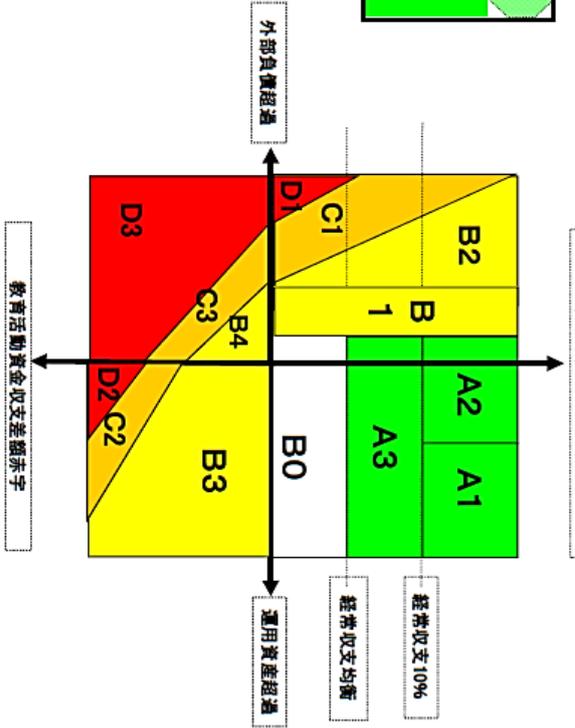
●外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務  
 ●運用資産 = 現金預金 + 特定資産 + 有価証券  
 ●耐久年数とは「あと何年で資金ショートするか」を表し、原則として修業年限を基準に設定  
 ●修正前受金保有率 = 運用資産 ÷ 前受金  
 ●**経常収支差額 = 経常収入(教育活動収入計十教育活動外収入計) - 経常支出(教育活動支出計十教育活動外支出計)**  
 ●積立率 = 運用資産 ÷ 要積立額(減価償却累計額十退職給与引当金十2号基本金十3号基本金)

① 教育活動資金収支差額  
 一般に学校法人の破綻は資金ショートにより起こると考えられるため、経営悪化の兆候を早期に発見し、経営破綻を防止するためには、1年間の経常的な教育研究活動の結果として現金が生み出せるかが重要になる。

②③④⑤ 運用資産は十分か、外部負債は返済可能な額か  
 教育活動資金収支差額が赤字の時は、過去の蓄積である運用資産を取り崩すこととなる。特に多額の外部負債がある場合には将来的に返済可能な額かが問題になる。特に多額の外部負債がある場合、外部負債が過大であれば同様の問題がある。また、期末の運用資産が少なすぎる場合もリスクが大きい。

⑥⑦ 経常収支差額  
 経常収支差額が黒字でなければ自己資本を取り崩すことになるため正常状態とはいえない。また経常収支差額が黒字であっても、基本金組入相当の黒字が生じていなければ経常収支は均衡しないため黒字幅で2つに区分した。

⑧ 積立率  
 減価償却累計額等の要積立額に対して運用資産の蓄積が十分になされているか。



## ⑦ 監査報告書

### 監 査 報 告 書

令和 7年 5月22日

学校法人 城西医療学園

理 事 会 御中

評 議 員 会 御中

監事

中林正利



監事

鈴木文雄



私たちは、旧私立学校法(令和5年5月8日 施行)第37条第3項及び学校法人城西医療学園 旧寄附行為(令和4年7月1日施行)第16条の規定に基づき、同学園の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会等に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人城西医療学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上